

Kan

No.103 November 2018

Gen

Kon

News

<http://www.kangenkon.org>

「第35回 みんなのくらしと放射線展」開催 同時開催イベント「わくわくサイエンスサマースクール2018」 「若狭・福島マルシェ」開催

8月3日(金)～5日(日)「第35回みんなのくらしと放射線展」(大阪府立大学、関西原子力懇談会等9団体で構成する『みんなのくらしと放射線』知識普及実行委員会)主催)および同時開催イベントを大阪科学技術センターにて開催し、親子を中心に約2,500名にご来場いただきました。

【展示コーナー】

展示会場では、放射線の基礎知識や、身近なくらしの中で放射線を、医療・工業・農業などで活かしていることなどを紹介したパネル展示をはじめ、目に見えない放射線の飛んだ跡を見ることができる「霧箱」の展示、放射線測定器を使った放射線測定体験、放射線ビンゴ大会など、大阪府立大学を中心とした先生や学生などの説明により、来場者のみなさんに身近に楽しく放射線を学んでいただきました。



【展示コーナー】
農業に役立つ放射線



【放射線ファミリー教室】

【放射線ファミリー教室】

事前応募による親子30名が参加し、霧箱工作や測定体験などで、放射線を「見て、測って、体感する」プログラムを開催し、9割以上の参加者から、また参加したいとの声をいただきました。

また、保護者向けに行った「放射線講義：放射線は結局どれくらい身体に影響があるの？」を聴

講された参加者より、「そんなに心配しすぎずに日々を過ごしていることが分かった」「放射線の知識が全くない私でも要点の理解はできておもしろかった」というご意見をお寄せいただき、親子ともども理解を深めていただきました。

8/5

ミニ物産展「若狭・福島マルシェ」開催

放射線展同時開催イベントとして、8月5日(日)に福井県若狭3町(美浜、高浜、おおい)と福島県の特産品を販売するミニ物産展「若狭・福島マルシェ」を開催しました。

当イベントは電源地域と都市部の交流および福島復興支援活動の一環として、若狭3町の観光協会等および福島県大阪事務所のご協力のもと、関西原子力懇談会原子力広報女性アドバイザーのみなさんに運営のご協力をいただき、来場者に向けて各地域の観光パンフレットの配布等のPRも併せて実施しました。



【第7回ハイスクール放射線サマークラス】

高校生たちが自ら放射線について調べ、学び、考えたことを発表する学校対抗形式のプレゼンテーション大会「ハイスクール放射線サマースクール」を開催しました。今年で第7回目を迎え、高等学校8校（初出場2校）の生徒たちによる、熱心な発表と質疑応答が行われました。

最優秀賞

関西学院千里国際高等部

タイトル「福島県国道6号線沿線の環境放射線量率の測定」

審査員特別賞

福井県立若狭高等学校

タイトル「小浜市を流れる2大河川（北川・南川）の周辺での放射線量の比較Ⅳ」

奨励賞

京都府立桃山高等学校

タイトル「Catch the Radon（断層での放射線の原因を突き止める）」



その他の出場校

大阪府立生野高等学校、大阪府立泉北高等学校、京都光華高等学校、京都府立鴨沂高等学校、ルネサンス大阪高等学校

「みんなのくらしと放射線展」ホームページに

今年度の実施報告が掲載されていますので、是非ご覧ください。

(<http://www.housyasenten.com/>)

放射線展

検索



大阪科学技術館共催 8/4,5 「わくわくサイエンスサマースクール2018」開催

お天気キャスター蓬菜大介さんによるステージイベントのほか、様々なイベントを開催。

4日
(土)

「お天気キャスター蓬菜大介の うきうきお天気教室」

テレビでもお馴染みの気象予報士 蓬菜大介さんによるステージイベントを開催しました。

お天気や雲に関するクイズ大会をはじめ、ペットボトルと炭酸キーパーを使い雲を作る実験や、色付きの綿を使った「雲ずかん」作りと参加者を楽しませる趣向を凝らしたステージイベントでした。

参加者からは、「お家でも図鑑を作ろうと思いました」「ペットボトルで雲を作ってみたい」などの感想も寄せられ、子どもと一緒に大人も最後まで楽しく科学に親しんでいただきました。沢山のご来場ありがとうございました。



4日
(土)

工作教室 「福井恐竜スクール2018 ～恐竜と化石の謎にせまる～」

協力：福井県立恐竜博物館



4日(土)
5日(日)

電子工作教室「暑さで光る！？ 熱中症予防センサーを作ろう！」

協力：近畿大学 エネルギー研究会 NEDE



教員対象 原子炉実験・研修会開催報告

(近畿大学原子力研究所、関西原子力懇談会 共催)

近畿大学原子力研究所と共催で「授業に役立つ放射線教育研修会」を7～8月に2回開催。中学校の教員を中心に、小学校、高等学校の教員等24名に参加いただきました。

当会は、近畿大学原子力研究所と共催で、主に中学校の理科教員を対象として、「原子炉実験・放射線教育研修会」を毎年夏休みに開催しています。

平成24(2012)年度から中学校理科において学習指導要領に放射線教育が導入されたことを受け、学校の授業で役立てていただくことを目的とし、近畿大学の先生方による放射線の基礎知識、健康影響等に関する講義のほか、環境放射線の測定や原子炉見学実習など、2日間にわたって、放射線と原子力について科学的に学べる内容となっています。

特に授業での実践を促進するため、放射線教育経験者による「放射線教育に関する実践例の発表と意見交換」をカリキュラムに含めており、今年度は秋津 裕氏(エネルギーリテラシー研究所 代表)、高島勇二氏(全国中学校理科教育研究会支援センター)



環境中の放射線測定

ター)に放射線教育の豊富な実践経験に基づく貴重なお話をいただきました。

参加者自身が実際にどのように授業が展開できるか、生徒達に伝えるかを具体的にイメージするきっかけとなり、参加者アンケートでも「生徒に教える自信ができた」と回答した参加者が約80%となる等、有意義な研修会となりました。



秋津 裕氏
(エネルギーリテラシー研究所 代表)



高島勇二氏(全国中学校理科教育研究会支援センター)

放射線教育支援事業「霧箱実験教室」開催報告

当会は、近畿2府4県および福井県内の学校教員と教育関係機関を対象に放射線教育支援事業として、放射線測定器の貸出や、放射線副読本の提供のほか、講師派遣を実施しており、このたび「霧箱実験教室」の講師派遣を2件実施しました。

<10月20日(土) 関西医科大学>

「ひらめき☆ときめきサイエンス」>

関西医科大学での、次世代層に向けた放射線医学の啓発イベントにおいて、霧箱実験教室を実施しました。

医学に興味を持つ中高生約30名に、放射線の基礎に関する講義と霧箱実験教室を実施し、医学関係者や保護者とともに、大変盛り上がるイベントとなりました。



講師：京都大学 複合原子力科学研究所
助教 佐野忠史氏

<11月5日(月) 京都府内中学校>

中学校3年生の理科の授業の一環として講師の派遣依頼を受け、放射線の講義と霧箱実験教室を実施しました。

放射線の基礎知識から利用に至るまでのお話を中学生の生活空間に身近で想像し関連付けられるようお話しいただき、生徒の興味を惹きつけていました。



講師
近畿大学 理工学部
教授 瀧美寿雄氏

コラム たまゆら 原子力に夢と魅力と活力を

私こと、本年6月より日本原子力学会関西支部長を務めることになりました。原子力学会は入会して今年で36年ですが、支部活動への参加は平成9年、当時神戸商船大学の小田啓二先生の呼びかけで動き出した原子力オープンスクール活動からになります。この際、「比較的若手」ということで集まったメンバーも、現在はそれぞれの所属で最年長の年齢となりました。この運営グループである「かんさいアトムサイエンス倶楽部」は、世代交代して、やはり同様に比較的若手に引き継がれているものの、昨今の大学を取り巻く環境から、超多忙な中で活動をしていただいていること、頭の下がる思いです。この間、原子力や放射線の理解促進・知識普及を掲げた方向性は一定しているものの、取り巻く環境は「逆風」、「順風」、「超逆風」と変遷し、それに対応すべく活動を行っております。私自身も、このオープンスクール参加をきっかけに、関原懇はじめ、原文財団、放振協などの諸機関が行われる活動にも関わらせていただきました。

原子力が社会において必要であるからこ

そ、逆風の中であればあるほど、知識普及活動と実際にその技術を担う人材育成の重要性が際立ってきます。福島原子力発電所事故から既に7年になりますが、原子力分野に携わる者として、その反省とともに安全・安心の担保と将来の姿について議論を深めていかねばならないと思っています。子供の頃、テレビや雑誌で登場した多くのヒーローたちはもちろん、宇宙船や飛行機、そして自動車ですら原子力で動いていました。また40数年前、大学で学ぶ分野として夢を感じて選択したのが原子力工学でした。次の世代に向けて、これからの原子力にいかにか夢を描き、夢を現実につなげていくか、いかにか魅力をアピールしていくか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。関西支部が夢と魅力の発信源になれば、というのが現在の思いです。

これまでに増して、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

日本原子力学会

関西支部長 渥美 寿雄

(近畿大学 理工学部電気電子工学科 教授)



ご案内 「PAI 原子力産業セミナー 2020」

当会は日本原子力産業協会と共同で、大学生等を対象に、原子力産業界の合同企業説明会「PAI 原子力産業セミナー」を開催しています。

来年3月開催のイベントとして、10/20(土)に福岡・博多にて、企業と学生との座談会形式による「エネルギー・インフラ業界研究セミナー」を開催、企業19社・学生74名が参加し、熱心に対話・交流が図られました。

2020年卒の大学生等を対象とした本イベントは、東京会場 来年3/3(日)、大阪会場 3/6(水)に開催いたします。

先生方におかれましては、学生の方々に是非ご案内をお願いいたします。

詳細は、ホームページでご覧ください。

(<https://job.rikunabi.com/media/energy/people/04.html>)



PAI 原子力産業セミナーイベント (福岡・博多)

PAI2020

検索

プレゼント 2019年関原懇カレンダー

福井県若狭地域(敦賀市以西)の名所(風景)をにじみ絵風のイラストで表現したカレンダーを20名様にごプレゼントいたします。

ご希望の方は、次の①～⑥をご記入の上、お申込みください。

当選者の発表は、カレンダーの発送をもってかえさせていただきます。

【お申込必要事項】 ①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
⑥本紙のご感想・ご意見

【応募先】 ハガキ：〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 関西原子力懇談会 カレンダー係
Eメール：info@kangenkon.org 件名「関西原子力懇談会 カレンダー係」

【締切】 12月14日(金)(ハガキは当日消印有効)

※ご記入いただいた個人情報は本件以外の目的で使用しません。

